

しあんな

施設長 佐野 毅



「富津市長による敬老訪問」

9月20日。富津市長佐久間清治様ならびに千葉県君津健康福祉センター副センター長葛岡康広様らが紫苑荘利用者様のために「敬老訪問」に来荘されました。

今年、満八十八歳(米寿)を迎えられる方5名と、満百歳を迎えられる方1名、そして百歳以上の方3名の利用者様に、それぞれ市長からお祝い品並びに内閣総理大臣杯を賜りました。

ちなみに、紫苑荘の最高齢者は、満一〇五才を迎えられたK様です。ついで満一〇三歳のM様。お二人共大変お元気でお若くて、百歳を超えている方にはとても見えません。

テレビの「長寿高齢者特集」などの番組を拝見していると、「長生きの秘訣」は、「ストレスを溜めないこと」と「充分な栄養と睡眠」と言われています。このお二人を拝見していると、まさにピッタリ当てはまるような気がします。

私たちも、「このお二人にあやかっつて」「毎日笑顔で過ごすこと」、「一日の疲れの解消には、よく寝て、よく食べて(食べ過ぎは禁物です)」、

いつも笑顔でニコニコと何事にも積極的に活動されている利用者〇〇様から、「自宅に帰りたい・・・」と願ひ事を伺った時には言葉が出ませんでした・・・

7月28日。紫苑荘恒例の一大イベント「納涼会」が行われました。私も納涼会委員のメンバーとして、先輩方にアドバイスをいただきながら準備に奔走しました。

当日、多くのご家族様のご参加を賜り、「歌」「踊り」にと、大変楽しい夏のひとときを共に過ごさせて頂き感謝しています。小さなお孫さんと久方振りに再開し、お互いに顔を近づけて、大変素敵な笑顔を見せていた利用者様。「かき氷」「タコ焼き(安全を考慮して「たこ抜き焼き」になりました)」「ミニたい焼き」などを嬉しそうに召し上がっていた利用者様。太鼓のボランティアさんが叩く和太鼓に合わせて「新君津音頭」を完璧に踊られていた利用者様・・・普段の生活では伺い知ることのできない利用者様の別の姿を拝見し大変驚きました(笑)



翌日朝起きた瞬間から、日々新たな気持ちで「前向きに」生活したいと思えます。

「前向き」と言えば、7年後の2020年「夏のオリンピック」の開催地「東京」が決定しましたね。

(スペイン)マドリッド、(トルコ)イスタンブール、そして「東京」と三つ巴の「開催候補地」選びとなりましたが、最終決定日の最後のプレゼンテーションで、安倍総理が「東日本震災からの復興。スポーツを通じて日本全体で被災地に元氣と希望と勇氣を与えることが出来る。原発事故による放射能汚染水の問題はすべて解決できる。」と科学的根拠を示して力強く宣言したのが開催地決定の鍵となったことはすでに「承知のこと」と思います。

「何事にも『前向きに取り組む』」ことが、これからの時代の「キーワード」になると思います。

一〇五歳のK様、そして一〇三歳のM様。

2020年の「東京オリンピック」の開会式(世紀の祭典)を私たちと一緒に楽しみに見ましょね。



3階便り

介護員 荒井佐代子

望みの門紫苑荘の介護員として入職し一年が経ちました。四季折々の行事は全て初めての事で、何が何やら分からない有様で行事の準備に奔走する事が多かったです。

現在は「リハビリ・レクリエーション」委員として、毎週日曜日の午後に行なう「リハビリ体操」と「レクリエーション」の企画・立案を担当しています。自分たちのオリジナルで考えた企画もありましたが、介護関連の参考書やインターネットで調べたり、看護員さんにも協力いただいたりしながら、ひとりでも多くの利用者様が楽しみながら参加出来るレクリエーションになるよう日々悪戦苦闘しています。私自身初めての介護現場で戸惑いも多々ありますが、「リハビリ・レクリエーション」委員の活動は大変勉強になります。

6月の終わり頃、「七夕の短冊を書こう」と題し、利用者様のレクリエーションに採り入れました。利用者様お一人一人に「願いごと」を伺い、短冊を作成し「笹の葉」に飾りつけていきました。



また室内に響き渡る和太鼓は圧巻でした。色とりどりのかき氷、ジュース、たこ焼き(たこ?)入っていたかしら)に舌鼓。

ご家族様とゆつくりと談笑しながら貴重なお時間を楽しんでいただき、利用者様の目の輝き、満面の笑みを伺うことができました。

利用者様、ご家族様の目、耳をしばし猛暑の現実から避暑地(?)へご案内できましたでしょうか?

紫苑荘一大イベントの「納涼会」はボランティアさんにも支えられ、皆様の笑顔とともに無事終えることが出来ました。ご協力有難うございました。来年も乞うご期待を!



事務室便り

1階受付前に「アンケート箱」を設置しております。

紫苑荘が提供している介護サービス全般につきまして、お気づきの点がございましたら、「面会等でご来荘の際に、ぜひご意見をお寄せいただければ幸いです。」

現在「望みの門」全体で、「顧客満足度調査」を実施しております。利用者様、御家

私が今思うこと・・・

人と人との触れ合いの中で、自分自身の気持ちが悪くなる現実感。

「責任の重さ」にくじけそうになった時期もありましたが、「自分がこの仕事に向いているのか?」を問う前に、「介護を必要としている方達がこんなにもたくさんいる。」という現実。たくさんの方々の笑顔と、一つでも多くの「心のふれ合い」を大切にしていきたいと思えます (3階介護員一同)

2階便り

介護員 小室啓子

今年の夏は「超」猛暑

年々進む地球温暖化は、施設にも容赦なく押し寄せ、紫苑荘では「節電」を掲げつつもエアコン・扇風機が大活躍・・・

されど電化製品もお疲れが出たせいか、ヒートアップで早速新たにエアコン設置。幾分利用者様も過ごしやす環境になった事と思えます。

そんな中、7月28日(日)恒例の納涼会を開催(「夕涼み会」とまではいきませんが)望みの門「サービスマスター」会場にて華麗な舞「日本舞踊」、民俗舞踊「ハワイアン」、親子共演の「和太鼓」。

舞踊の先生と一緒に昔懐かしい歌を歌い、フラダンスの先生には体全体を使ってフラの踊りを教えて頂きました。

10月給食便り



空はますます澄み渡り、朝晩の冷気も増してくるので「体調管理」に注意が必要です。胃腸を温める「根菜類」や、乾燥して固くなった皮膚を潤す「魚介類」を食べ、秋の冷気に負けない体力をつけましょう。
10月(秋)は胃腸を温める「根菜類」や、抗酸化力の高い「果物」が沢山「旬を迎える」嬉しい季節です。



柿

旬は10月～11月。「カロテン」と「ビタミンC」が豊富で風邪やガンの予防、抵抗力を高め肌荒れを予防します。大根と一緒に調理すると消化力が高まり、「ビタミンC」摂取量も高まります。

鮭

旬は9～11月。サンマと並び秋の味覚を代表する魚です。「カルシウム」の吸収を高める「ビタミンD」や成長を促し消化を助ける「ビタミンB群」が豊富です。皮の部分には特に「ビタミンB2」が多く含まれます。本来は白身の魚ですが顔としてエビやカニを食べるのでピンク色になります。この成分は「アスタキサンチン」と呼ばれ今注目されている栄養素です。美肌や美白、ダイエット効果に生活習慣病を予防する効果、脳細胞の健康を保ちアルツハイマーなどの障害を予防する効果など期待が広がっています。

～「栄養ケアマネジメント」に取り組んでいます～

9月より介護予防に重点を置いた「栄養ケアマネジメント」を開始しました。目的としては、人間の基本的欲求である「食べる楽しみ」を重視して、食べることによって低栄養を改善予防し高齢者の生活機能を維持・向上させ、自己表現のできる喜びを味わえるようにすることです。そのためにも適切な栄養ケアを効率的に提供できるように「管理栄養士」をはじめ、関連職種との連携のもと進めてまいります。ご協力をお願いいたします。

- * 「栄養ケア計画書」に御家族様から同意をいただいた日から、1日当たり14円の加算となります。
- * 「経管栄養」から「経口栄養」へ移行される方につきましても、1食でも召し上がられる方には、1日当たり14円の加算となります。
- * ただし「入院等」により、施設の食事を召し上がらない場合については算定されません。
(管理栄養士 鶴岡はるみ)

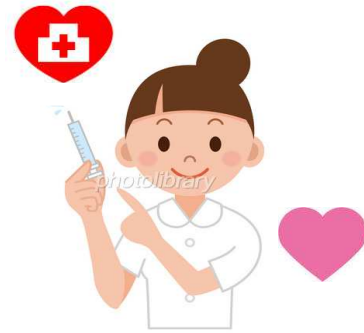
健康管理室長 看護師 長谷川容子

とても暑かった今年の夏も終わりを迎えました。エアコンのない居室も多々あるなか、ご自分で動くことの出来ない利用者さんにとって、良い環境を保つことは難しい問題でしたが、熱中症を発症する利用者さんもなく、無事にこの夏を過ごせたことにはとても感謝しています。

これから、季節は移り変わり、寒い季節を迎えます。一〇月には年に一度の「老人健診」を受けます。また、十一月には「インフルエンザの予防接種」も予定しています。

利用者さんの健康に留意し、笑顔で元気に楽しい生活を送っていただけるよう援助させていただきます。

また、感染症の予防など引き続きご家族の皆様のご協力をおねがいいたします。
(看護師一同)



ボランティアコーナー

今回は、「京葉後援会」の皆様のご紹介です。

「望みの門京葉後援会」は、50年前に「望みの門」が発足した当初より、先代の故木下弘人牧師(元常務理事、元楽生園長)のご友人である石井錦一師(日本基督教団・松戸教会牧師)が発起人(会長)となり、千葉県内の全ての基督教会や教会関係者に呼びかけて「望みの門」を物心両面から支えてくださる支援団体として発足しました。今や会員数は、千葉県のみならず全国に約4百～5百人にも広がっています。

「紫苑荘」には、おもに「入浴介助のお手伝い」として、毎週火・金曜日に2名ずつ交代でボランティアにいらしてくださいます。中には、30年以上も、この活動に携わっておられる方もいらつしやいます。しかも全くの無報酬です。

本当に頭が下がります。今後とも末永くお付き合いのほどよろしくお願いたします。



新規配属職員紹介

新たな仲間が増えました
どうぞよろしくお願致します

9月1日付採用
介護員 千倉伸子さん
看護師 岩脇ひとみさん

9月1日付異動(転入・転出)
(望みの門在宅サービスセンターから)
介護支援専門員 君島峯子さん
介護支援専門員 平野千里さん
(望みの門在宅サービスセンターへ)

新規採用職員や法人内部異動・転入者は皆さん「やる気」と「情熱」をもって紫苑荘に就職していただきました
ご活躍を大いに期待しています



社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特別養護老人ホーム 望みの門紫苑荘
千葉県富津市富津617の14
0439(87)5077
発行責任者 施設長 佐野 毅